

夏季ダボスフォーラムにおける李克強総理の挨拶

田中 修

はじめに

李克強総理は、6月27日、大連で開催された夏季ダボスフォーラムで、開会の挨拶を行った。本稿はその概要を紹介する（新華社大連電 2017年6月27日）¹。

1. 世界経済の状況

我々が高台に立って遠望すると、青山は薄霧におおわれ、時に隠れ時に現れる。しかし、それは一時のことで、薄霧は最後には散り去って、青山は長く屹立する。現在の世界経済も、これと同じようなものである。

一面において、世界経済・貿易は回復の兆しが出現し、新たな産業革命は人々に新たな希望を抱かせており、経済のグローバル化は不可逆的な趨勢である。他方で、世界経済の回復の動力は不足しており、構造的問題はなお根本的に解決しておらず、アンチグローバルリズムの傾向がある程度台頭しており、地政学的リスクがある程度上昇している。

もし青山を世界経済の安定性に、薄霧を不確定性に喩えたとすれば、しっかりと青山に根をはって揺るがなければ、安定性を用いて不確定性に戦勝することができる。

2. 包摂的な成長

(1) 第4次産業革命

世界の歴史を縦観すると、各回の産業革命はいずれも社会の生産力の飛躍と人類の文明の大進歩を推進してきた。

今回の産業革命は、経済のグローバル化の背景の下、育まれ勃興してきたものであり、これまでにないような速度・広さ・深度によって世界を変えており、各国の経済成長のために強い動力を提供した。しかし、措置が適切でなければ、成長の包摂性が不足するという問題をももたらすことになる。たとえば、一部の人の受益が多く、他の人の受益が少ない、伝統産業と雇用が打撃を受け、資本のリターンと労働のリターンの格差が増大するといった問題である。

これらの問題をしっかりと解決することは、社会的にも経済的にも意義がある。成長の包摂性が不十分だと、一部の労働力と資源の遊休、階層と地域の分化をもたらす、市場の潜在力を十分に発揮し難くなり、社会の分化が際立ち、経済成長も持続が難しくなる。包摂的な成長を実現することは、即ち社会の公平性と発展の恩恵の普遍性を増強し、持続可能な成長を実現することなのである。

¹ 見出しとゴシックは、読者の便のため筆者が適宜つけている。

これまでの産業革命と比べると、新たな産業革命において包摂的な成長を実現することは、より大きな可能性がある。

ネットワーク化・デジタル化・スマート化に代表される新たな産業革命は、新たな供給・需要を創造し、発展の空間を大いに開拓するだけでなく、各方面に未曾有の機会・平等に参加する機会を与えるものである。各人は誰でも、インターネットの助けを借りて、より便利に起業・イノベーションを行い、富を創造することができる。中小企業は、大企業と同一のスタートラインに立って、一緒に発展し、より多くの新たなリーダーを生み出すことができる。発展途上国も、比較優位性と後発の優位性をより好く発揮することができる。カギは、有力・有効な措置を採用し、これらの可能性を現実のものとし、新たな産業革命の中でより多くの人・企業・国家により好い発展を実現させることである。

(2) 経済のグローバル化

今の時代、包摂的な成長を推進するには、経済のグローバル化を擁護しなければならない。

経済のグローバル化は、商品・資本・人員の流動を極大まで促進することにより、生産者により大きな市場を与え、消費者により多くの選択を与え、世界各国が皆、グローバル化の中から受益することができる。

しかしながら、経済のグローバル化に際しては、先進国も発展途上国も、あれこれの不
適応問題に遭遇している。これらの問題の根源は、経済のグローバル化自体にあるわけではなく、主としていかに適応し対応するかということにある。我々は歩いて足をくじいても、土地が平らでないことをとがめて前へ進まぬことは許されない。経済のグローバル化により好く適応して、これを誘導し、マルチの体制の権威性・有効性を擁護し、貿易・投資の自由化・簡便化を促進すると同時に、国際経済・貿易のルールを改革・整備し、国際経済協力における各国の権利の平等・機会の平等・ルールの平等を保障しなければならない。

現在、「公平な貿易」の問題について議論する人がいる。事実上、自由貿易を経済のグローバル化の基礎とすることは、公平な貿易の前提であり、自由貿易の制限は公平な貿易をもたらさず、公平の原則は自由貿易のあるべき姿であり、不公平な貿易は持続できない。

貿易において出現した問題・争いについては、相手の国情を考慮し、平等に話し合い、互いに許し譲り合って、利益の合致点・均衡点を探し求め、優位性の相互補完・ウインウインの道を探し出さなければならない。国際的なマルチのルールの下では、皆が平等であり、パイのルールを人に押し付けてはならず、多くのウインを探さなければならない。

(3) 自助努力

包摂的な成長を推進することは、各国自身の努力と切り離せない。

経済のグローバル化と新たな産業革命のプロセスにおいて、各国がチャンスをうまく用

い、経済発展を加速し、失業・所得格差の拡大・貧困等の問題をしっかり解決できるかどうかは、主として自身の選択と行動によって決まる。

効率を追求し、公平を重視する健全な制度手配を重視し、バランスがとれ恩恵が普く及ぶ成長モデルを整備し、各人が平等に参加できる機会を提供し、未来志向の教育改革を行い、産業の変革における労働者の適応性を増強し、雇用の構造的矛盾を解消し、弱者層への支援を強化し、全ての人が発展のもたらすメリットをシェアできるよう努力しなければならない。

持続可能な発展についていえば、気候変動への対応を提起せざるを得ない。これは、国際社会の共同責任である。中国は「パリ協定」を遵守し、気候変動に対応する措置を実施する。これは、中国のグリーン発展にとって必要なことである。

(4) 「一帯一路」

最近、中国は「一帯一路」(シルクロード経済ベルト・21世紀海のシルクロード)国際協力サミットを成功裏に開催した。

「一帯一路」の建設は、共に話し合い、共に建設し、共に享受することに立脚しており、包摂的な発展の大プラットフォームであり、世界各国及び工商企業のために新たなチャンスを提供するものである。各方面が積極的に参加し、互惠協力の中で連動した発展・ウィンウインの発展を実現することを希望している。

3. 中国における包摂的な成長

中国は、包摂的な成長の積極的な実践者である。

近年、世界経済が低迷する大環境の中、中国経済が平穏な発展を維持している重要原因は、包摂性が不断に増強されていることである。我々は、イノベーション・協調・グリーン・開放・共に享受という発展理念を深く貫徹し、経済のグローバル化と新たな産業革命の大趨勢に順応し、発展戦略において包摂を体現し、体制メカニズムにおいて包摂を保障し、政策措置において包摂を促進し、自身の特色を備えた包摂的な成長の道を歩んできた。当然、我々はなお模索の途中である。

(1) 雇用

我々は、雇用を発展で優先的に位置づけている。雇用は包摂的な成長の根本である。

比較的十分な雇用がなければ、包摂的な成長を語ることはできないし、所得の増加・社会の富の創造も根底を失ってしまう。中国には9億余りの労働力があり、毎年1300万前後の大学・高校・専門学校卒業生がおり、さらには大量の農業余剰労働力が都市への移転を必要としている。我々は、雇用を経済の運営状況を推し量るカギとなる指標としており、安定成長は主として雇用を維持するためのものである。

積極的な雇用政策の実施を堅持し、総量の拡大、重点の把握、弱者・困窮者の支援に力

を入れる。起業によって雇用を牽引することを奨励し、大学卒業生の雇用促進計画を実施し、出稼ぎ農民が帰郷し起業することを支援し、生産能力削減によりリストラされた従業員・都市困窮者・障害者等の就業を支援し、就業ゼロ家庭の少なくとも 1 人の雇用の安定を確保する。

過去数年、中国の毎年の都市新規就業者増は 1300 万人を超えており、都市調査失業率は 5%前後を維持している。国際権威機関は、多くの発展指標を総合的に評価し、中国の雇用を世界第一と表現している。同時に、個人所得の伸びが経済成長率と同歩調を維持しており、ジニ係数が徐々に縮小し、中等所得層が徐々に拡大している。このことは、13 億余りの人口を抱える発展途上大国にとって、すばらしい成果であり、包摂的な成長に対する重要な貢献でもある。

(2) イノベーション

我々は、引き続き全社会の起業・イノベーションへの参加率を拡大する。これは、雇用開拓のルートでもある。

人々が参加し、人々が力を尽くし、人々が享受することは、包摂的な成長の核心的意義であり、現代中国の起業・イノベーションの顕著な特徴でもある。近年中国は、イノベーション駆動による発展戦略を深く実施し、大衆による起業・万人によるイノベーション（「起業・イノベーション」）を広範に展開し、社会の起業・イノベーションの肥沃な土地に深く根をはり、予想を超える効果を得てきた。

中国の起業・イノベーションは、社会構成員の広範な参加によるものである。企業・科学研究単位が「起業・イノベーション」を推進しているだけでなく、ますます多くの一般人も参加しており、各自が本領を発揮し競い合っている。2014 年に我々が「起業・イノベーション」を提起して以降、3 年間平均で毎日の市場主体新規増は 4 万件を超え、うち新たに登記した企業は 1.4 万社近くであり、企業の活躍度は 70%前後を維持し、今年 5 月に毎日新たに登記した企業は 1.8 万社に達した。

中国の起業・イノベーションは、各種主体が協同で推進するものである。我々は開放され共に享受する「起業・イノベーション」のプラットフォームを作り上げ、各種イノベーション主体が手を携えて協力し、オンラインとオフラインの間に良性の相互作用を生みだし、衆知を集め、大衆の力を結集することにより、起業・イノベーションのコストをより低くし、速度をより速くし、効率をより高める。最近、世界知的財産権組織等の機関が公布した 2017 年グローバルイノベーション指数の順位では、中国は第 22 位となり、2013 年と比べて 13 ランク上昇し、中等所得経済体のトップとなった。

中国の起業・イノベーションは、人民大衆があまねく受益するものである。我々は、新産業・新業態・新モデル、たとえば電子商取引・モバイル決済・自転車シェアリングに対して、包摂的かつ慎重・周到な監督管理方式を実行し、その急速で健全な発展を促進してきた。これは、庶民の生活を便利にするのみならず、大量の就業ポストを増やすものであ

る。昨年全部の新規就業者増のうち、新たな動力エネルギーの貢献率は70%前後に達した。「起業・イノベーション」は、より多くの人々に自身の運命を変える機会をもたらし、社会の縦方向への流動ルートを開拓している。

中国の起業・イノベーションは、経済の転換・グレードアップと競争力の向上を有力に促進してきた。「起業・イノベーション」は、新産業の迅速な発展を推進することにより、多くの伝統産業を活性化させ、発展の新たな動力エネルギーを壮大なものにしている。昨年、中国のシェアリング・エコノミーの市場規模は3.5兆元に達し、成長速度は100%を超え、6億人がシェアリングに参加した。

中国の起業・イノベーションは、大衆の力によって速く、勢いよく、強くなり、包摂的な成長を実現するための有効な道筋である。

(3) 民生の保障

我々は、基本的な民生保障の水準を不断に向上させている。

中国は、世界で最大の発展途上国であり、十数億の人口のギリギリの衣食の充足・住宅・教育・医療等の基本的な民生問題をしっかり解決することは、容易ではない。非常に困難な努力を通じて、中国は全国民をカバーする基本年金・基本医療・義務教育の3大セーフティネットを確立した。

我々は中低所得層とりわけ貧困人口に狙いを正確に定め、彼らの生産・生活条件を改善する方法を考え、農村の脱貧困堅塁攻略・都市バラック地区の改善等の重大民生プロジェクトの実施に力を入れている。

過去30年余り、中国は7億余りの人口を貧困から脱却させ、人類の貧困減少の歴史上奇跡を生み出した。現在、精確な貧困扶助・精確な脱貧困を大いに推進しており、2020年までに残り4000万余りの農村貧困人口の脱貧困実現を計画している。

中国は、かつて約1億人が都市のバラック地区で生活していたが、過去8年間累計6兆元余りの各種資金を投入し、バラック地区の家屋3000万戸余りを改造し、8000万余りの住民を新しいアパートに住ませた。これは、かなり大きい一国の人口総量に相当する。

中国の包摂的な成長は、人民大衆の生活をより好くし、より尊厳をもたせるものであり、経済社会の発展をより活力のあるものにし、より持続可能にするものである。当然、中国はなお発展途上国であり、人民全体が発展成果を共に享受し、現代化を実現するよう推進しているが、なお長い道のりを歩まなければならない。

4. 中国経済の現状

(1) 概観

今年に入り、中国経済は安定の中で好転するという発展態勢を続けている。

1-3月期の経済成長は6.9%であり、経済の効率は顕著に改善し、4-6月期の主要経済指標は引き続き好転している。発電量・貨物輸送量・企業の新規発注は明らかに増えてお

り、一定規模以上の工業企業の利潤は 2 桁で伸びている。外貨準備は反転増加し、人民元レートは基本的に安定している。

とりわけ雇用情勢が比較的好く、5 月の全国都市調査失業率は 4.91%に下がり、長年の最低水準となっている。最近、多くの国際組織・研究機関が中国の経済成長予測値を上方改定しており、中国の発展の新たな動力エネルギーが不断に累積され、経済のリバランスが着実に推進されていると考えている。このことは、市場の楽観的予測にも反映している。

(2) 構造の変化

中国の経済運営の指標は満足すべきものであるが、内在的な構造変化はより貴重である。

ここ数年、経済の下振れ圧力に対し、我々は「バラマキ」式の強い刺激策を採用せず、過度な投資・資源の消耗といった伝統的な発展方式も踏襲せず、むしろ改革・イノベーションを通じて、経済構造調整を続け、経済成長が輸出・投資に過剰に依存することから、消費の牽引・サービス業の牽引・内需の支えにより多く依存することへの転換を実現した。

昨年、経済成長に対する消費の寄与率は 64.6%に上昇し、経済成長の主要なパワーとなった。サービス業の付加価値のウエイトは 51.6%に高まり、全体の半分を占めている。経常黒字の対 GDP 比は 1.8%にまで低下し、内需は強靱な大黒柱となっている。これらの重大な転換は、中国経済の質の向上を際立たせるものであり、経済成長により高い安定性と持続性をもたせるものである。

(3) 今後の展望

現在、中国経済は少なからぬ困難・試練にも直面しており、我々はこれに対し十分な対応・準備をしている。

外部環境が複雑で変化に富む背景下、国内経済の転換・グレードアップのカギとなる時期にあつて、中国のいくらかの経済指標が短期的に小幅な変動があることは避けがたいが、安定の中で好転する態勢には変化はなく、年間の発展主要目標・任務を完全に実現できる。我々は、安定の中で前進を求めるといふ政策の総基調を堅持し、サプライサイド構造改革を主線とし、経済の早急な転換・グレードアップを推進し、発展の内生的動力を増強する。

(4) 改革の深化

我々は、改革を全面的に深化させ、経済発展のより大きな活力を発揮させる。

財政・税制、金融、国有企業・国有資産等の重要分野の改革を強化する。行政の簡素化・権限の下方委譲、減税・費用の引下げ、制度的取引コスト・企業の負担の引下げに力を入れる。市場参入を緩和し、公平な競争を促進し、便利なサービスを提供し、民営企業の投資・発展の障害を除去する。

構造的減税政策を実施し、各種の企業に係る費用徴収を全面的に整理する。ここ数年、減税・費用を 2 兆元引き下げた基礎の上に、今年さらには企業負担を 1 兆元軽減し、市場

主体により多くの実感を与える。

(5) 構造調整

我々は、構造調整を引き続き推進し、新旧動力エネルギーの接続・転換を加速する。

イノベーション駆動による発展を堅持し、「起業・イノベーション」を深く進め、大中小企業、科学研究機関、社会のイノベーター間のイノベーションの疎通を図り、新興産業群を育成し、新技術・新業態を用いた伝統産業の改造・グレードアップを奨励する。

市場化・法治化の方法を引き続き運用し、鉄鋼・石炭・火力発電等の産業の過剰生産能力解消・落后した生産能力の淘汰を推進する。

中国はすでに中等所得国家の列に入っており、消費が極めて重要である。消費を拡大すれば、市場の巨大な潜在力を発揮し、より多くの雇用をもたらすことができる。我々は消費をグレードアップさせるという需要に適応し、消費環境を不断に改善し、消費のホットスポットを育成し、新興消費を壮大なものにする。これにより、人民の生活を改善できるだけでなく、経済成長のために動力を添加することができるのである。

(6) 対外開放

我々は、積極かつ積極的に対外開放を拡大し、国際競争力を備えたビジネス環境を作り上げる。

経済のグローバル化・新たな産業革命に適応する開放型の経済新体制を早急に構築し、サービス業・製造業への市場参入を一層緩和し、一部の外資の関心分野である外資持ち株比率制限を緩和し、ネガティブリストによる管理モデルを推進・整備する。国内資本企業・外資企業について、政策支援で同等に扱い、シングルウィンドウの登記と期限までの手続き終結の実施を推進する。

外資企業が中国で利潤を留保し、国内に投資することを奨励し、多国籍企業が中国に地域総本部を設立することを支援して、外資を中西部地域・東北等の旧工業基地に誘導する。今後5年間、中国は8兆ドルの商品を輸入する。

中国経済が長期に好転し、日増しに開放されることは、世界各国により多くのチャンスをもたらすことになり、最も豊かな吸引力をもつ投資目的地であり続けるということである。各国の工商界が中国で投資し事業を興すことにより、中国経済と共同で成長することを歓迎する。

(7) 経済・金融のリスク

我々は、経済・金融のリスクの防止・コントロールを強化し、システミックリスクを発生させない最低ラインをしっかりと守る。

現在、いくらかの分野にリスクの隠れた弊害が確実に存在しているが、リスクは総体としてコントロール可能である。我々は、有効な措置を採用し、遅滞なくリスクポイントを

解消・処理している。中国にとっては、発展しないことが最大のリスクである。我々は引き続き統一的に企画し各方面を考慮して、経済発展を促進する中でリスクを防止・解消する。

中国政府の負債率は、世界の主要な経済体の中で相対的にかなり低く、国民の貯蓄率・商業銀行の自己資本比率・引当金のカバー率が相対的にかなり高い。我々は、各種リスクを防止し、経済運営を合理的区間に確保し、かつ長期に経済の中高速成長を維持し、ミドル・ハイエンド水準へと邁進する十分な能力がある。

5. むすび

中国人は、「海は百の川を納め、容量が大きい」とよく言う。より包摂的な世界は、必ずより精彩の増した世界である。我々は、各国と一緒に、経済のグローバル化と新たな産業革命のプロセスにおいて、包摂的な成長を実現することに努力し、人類の運命共同体を構築し、共に人類の素晴らしい未来を創り上げていく。

(7月9日記)